学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	映像技術A	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

映像デザイン分野の主要領域である写真制作とビデオ制作の基礎を学びます。専門機材の扱いから企画・撮影・編集・展示までの工程を体験し、表現力と主体的に取り組む姿勢を育てます。制作への真摯な態度や、学びを深める「振り返り」を含む提出物の充実度を重視して評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
写真・ビデオの基礎知識と機材操作を習得し、安全で合理的な制作工程を構成する力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
映像表現の課題を発見し、特性を踏まえた適切な表現や構成を判断し作品化する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
制作に真摯に向き合い、主体的・協働的に課題解決に取り組み、表現活動に貢献する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	写真・ビデオの基礎知識を理解し、カメラや照明、録音、編集アプリなどの専門機材を安全かつ適切に操作する技能を評価する。制作工程を通して合理的な手順を身につけ、作品完成に必要な知識と技術を統合して活用できる基礎力の定着を重視する。	制作上の課題を自ら発見し、写真・ビデオそれぞれの特性を踏まえて表現意図に合う技法や構成・演出を判断する力を評価する。工程を科学的・論理的に思考し、創意工夫を加えて作品化する表現力、制作過程で適切に課題を解決する力を重視する	映像デザインへの関心を持ち、学習を深めようとする主体的な姿勢を評価する。制作に真摯に取り組み、継続的に技能向上を図る態度や、役割を自覚して協働し課題解決に取り組む姿勢を重視する。得た知識を作品に生かし、新たな表現を探究する姿勢も評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ビデオ制作基礎Ⅰ	各自が設定したテーマに基づき、企画書、シナリオ、絵コンテを作成する。グループ内での役割を分担し、撮影・編集の工程を協働で進めることで、映像制作におけるプランニングの重要性と集団制作の進め方を学ぶ。	a:映像の特性を理解し、機材の機能を活かして意図した映像を記録・構成する実習技能を身に付けている。 b:オリジナル制作を通じ、視聴者を意識した効果的な画面構成や編集構成を思考し、表現に反映させている。 c:グループワークにおいて自身の役割を自覚し、他者と主体的かつ協働的に課題解決に取り組む真摯な姿勢を持っている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
2	組写真による表現探究	複数の写真を組み合わせて構成する「組写真」の制作を行い、単一のカットでは伝えきれないストーリー性や表現意図を具体化する力を養う。	a:写真表現の基礎となる画角、被写界深度、露出、光の捉え方に関する専門的な知識と技術を習得している。 b:組写真や展示作品の制作工程において、創意工夫を凝らして課題を解決し、効果的な表現を構成できる。 c:写真制作に強い関心を持ち、自主的・継続的に課題に取り組むことで、ものづくりに関する探究心を高めようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り

2	ビデオ制作基礎Ⅱ	画像処理や音声調整の技術を習得し、1・2学期で学んだ知識を統合してオリジナルのビデオ作品を完成させる。機材やアプリケーションを適切に使いこなし、自身の表現意図を具体化する一連の工程を体験する。	a:作品完成に必要な基礎的な知識・技術を習得し、安全かつ合理的・効果的な手順で撮影・編集作業を進めることができる。 b:制作上の課題に対し、科学的根拠に基づき創意工夫を凝らして解決策を講じ、作品として具体化する力を発揮している。 c:グループワークにおいて自身の役割を自覚し、他者と主体的かつ協働的に課題解決に取り組む真摯な姿勢を持っている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
3	写真作品制作	スタジオライティング技術を深く研究し、光の制御による演出効果を学びます。機材やアプリケーションを応用的に使いこなし、自身の表現意図を反映させた質の高いポートレート作品を制作する。	a:スタジオワークにおける機材やアプリケーションの応用的な使い方を習得している。 b:作品制作の工程において、表現意図を実現するために適切な思考・判断を行い、計画的に作品を構築できる。 c:映像デザインに関する広い視野と興味関心を持ち、身近なメディアを意欲的に観察・情報収集して、得た知見を自己の作品に反映させようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度